



STOP!! 消費者トラブル

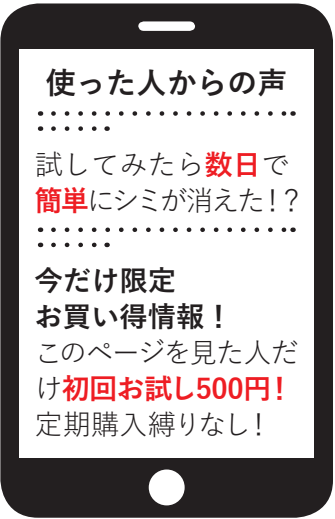
生活環境課（内線172）

その話、本当？
ネット通販の広告に注意しましょう

広告報酬を稼ぐために
刺激的なネット広告を
作ろう！



シミが数日で消え
るなら試してみよ
うかしら。
お試し500円なら
安いものだわ。



消費者を誘導するために、劇的な効果をうたう過激な表現や「芸能人が愛用」などの信ぴょう性が疑われる表現、「在庫切れ直前」や「次回入荷未定」など購入をせかす表現を用いる広告も少なくありません。また、表示された記事が事業者からの依頼で書かれた推奨記事であることもあります。

ネット通販をトラブルなく利用するためには、消費者も広告内容をうのみにせず冷静に判断し、情報の真偽を見極める目を養う必要があります。

☑️ **トラブルに遭ったときのために…**

広告による通販トラブルの場合、後で広告を見直そうとしても表示できないことが多いです。

➡️ **広告やHPなどのスクリーンショットを残しておくようにしましょう。**

少しでも不安に思った時、トラブルに遭った時は消費者ホットライン「☎188」に相談



ようこそ手話の世界へ

これまでに紹介した手話写真の動画を見ることができます。



福祉課（内線217）

コード（CODA）

2022年1月に日本で公開された映画「コードあいのうた」は、第94回アカデミー賞で3部門受賞しました。コードとは、アメリカで生まれた言葉で、“聞こえない・聞こえにくい親”を持つ“聞こえる子ども”のことを表しています。日本でも、3月からNHKで「しずかちゃんとパパ」というドラマが放送されました。しずかちゃんがコードの作品です。作品の中に、聞こえる家庭では見られない光景が出てきます。例えば、聞こえない父親を呼ぶときにお手玉を投げて気付かせること。誰の話をしているかを明確にするために指差しをすること。どちらも「親に物をぶつけるなんて」「人に向かって指差すなんて」あり得ないと非常識に感じる方が多いと思います。しかし聴覚障がい者の家庭では、当たり前に行われている行動です。みなさんが遠くから「お父さん」と叫んで呼ぶように、気付いてもらうことが大切なのです。（物を投げるのは家族に限った行動です）

かんたん手話講座 } 土岐市民の歌から「美濃の空」

「美濃(地元)」



親指を手の平の中心で回す

「空」



左手を左から右へ、アーチを描くように



小さな一歩が大きなアクションに

今日から始めよう SDGs

政策推進課（内線517）

国連が定めた世界を変えるための目標であるSDGs。そのSDGsを身近に感じていただくために、隔月でSDGsに関する記事を発信していきます。まずは知って、できることから取り組んでいきましょう。



カエルから考える SDGs

このカエル、何というカエルか知っていますか？

このカエルは「トノサマガエル」です。子どもの頃に田んぼや水路で見たことがある方も多いと思います。しかし、近年では見かけることが少なくなったと感じませんか？トノサマガエルは2012年から環境省レッドリストの「準絶滅危惧」に指定されています。水田の減少(耕作の放棄)、あぜのコンクリート化や農薬の散布などによって減少していると考えられています。

SDGsの14番目の目標は「海の豊かさを守ろう」、15番目の目標は「陸の豊かさを守ろう」です。健全な生態系を維持して、自然の恵みを守るための目標です。



子どもや孫の代に今の生き物を残していくために、生物の多様性を守り自然と人が共生できる社会をつくっていきけるよう、まずは身近な自然や生き物から考えてみましょう。

取り組んでみよう！

プラスチック製品は自然に分解されません。捨てられたものが川から海へ流れ、生態系に影響を及ぼすことにつながります。ペットボトルやストローなどのプラスチック製品の使用を減らしましょう。ポイ捨ては絶対ダメ！



ひとりひとり自分らしく 個性と個性が生み出す調和

ハーモニー

まちづくり推進課（内線311）

6月23日から29日の1週間は「男女共同参画週間」

「あなたらしい」を築く、「あたらしい」社会へ

（令和4年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ）

ダイバーシティという言葉を知っていますか？形や性質がさまざまであることを意味し、日本語では「多様性」と訳され、社会的な用語で使われることが多くなりました。人間には個性や特性があって、性別や国籍、宗教、思想などの違いを互いに認め合い、それを生かすことで、世の中が元気になる、社会が発展していくという考え方です。自分とは違う考え方や宗教、人種の人を排除してはいませんか？同質の人間ばかりが集まったチーム（社会）よりも、一人一人の個性が力を発揮するチームの方が、全体として強い力を持つことができます。『男だから』『女だから』といった性別役割意識にとらわれず、個性と多様性を尊重し、自身の可能性を信じて誰もが生きがいを感じられる社会を目指し、今できることは何かをこの機会に考えてみましょう。

